

発行
平成29年
2月13日
復刊 第81号



発行 者
長野県下伊那農業高校
同 窓 会
TEL (22)5550
FAX (53)0339
編集・発行
同 窓 会 幹 事 会
印刷 龍 共 印刷

同窓会長就任のご挨拶

同窓会長 関 島 伸 喜 (高13回卒)



新しい年を迎え、同窓生の皆様に於かれましては、ご健勝で過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、私は昨年五月の代議員総会において同窓会長を拜命致しました。岩崎前会長の後を引き継ぐ事になります。何分にもその器ではありませんが、同窓会、学校の発展の為に役立ち出来ませぬ様に、精一杯の努力をする覚悟でございます。

同窓会員の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

本校を卒業した同窓生の数は一万八千名を超え、地域社会は基より全国各地に於いて、ご活躍されており、ますます心から敬意を表し、益々のご尽力をご期待申し上げます。

同窓会の組織、活動について、ご承知とは思いますが、改めてお繋ぎ致します。卒業年次毎に代表若千名をご選出頂く事を基本とし、四十四地域の支会長さん、女性部の稲穂会代表者を加

ご挨拶

え、理事会及び代議員会を構成しています。毎年五月に理事、代議員総会を開き事業案を検討の後、承認を頂いて運営に当たっております。執行役員には正副会長及び監査を置き、元会長の皆様に顧問となつて戴き、指導を仰ぎつつ直面する事業に取り組んでおります。

又、当然の事ながら母校で教鞭を取られている同窓の先生方には、校内幹事として同窓会運営に並々ならぬご尽力を頂いて居ります。おかげ様で安定して同窓会が維持されて来ており、心から感謝を申し上げる所でありませぬ。

さてご承知の様に母校創立からもう直ぐ百年を迎えようとしています。二年前から記念事業の実行委員会を立ち上げ準備を進めて参りました。そして昨年代議員総会で企画案をご承認頂き、事業の実現に向けて踏み出しました。既に地区代表の支会長さんの処へは記念事業の趣意書を添えて、同窓各位の御協力を要請申し上げた所であります。同窓会、学校、PTA三位一体で行う大事業と考えております。

少子高齢化が進み地域の

人口減少が現実となり、第二次高校再編問題も浮上しております。命を繋ぐ食糧産業の基礎をなす、下農の農業教育の根幹が揺らぐは

ずはありませんが、現在の農業軽視の風潮を是正する為にも、この飯伊地域から、農業教育の道を曲げたり、閉ざしたりしてはなりません。

ご挨拶

学校長 嶋 崎 文 男 (高28回卒)



ん。百年の歴史の積み重ねの上に、更なる農業教育環境の整備、施設の充実を図り、未来を担う農高生の育成の為に、この機会を通じて尚一層のご理解とご協力を願っております。

現在母校は飯伊地域のほぼ中央にあり、活気あふれる経済圏に囲まれ、交通の

なければ幸いです。

ところで、将来の予測が困難な時代、決まった答えが無い時代を迎えようとしている中で、高校教育は戦後最大とも言われる改革が行われようとしています。その中心になるのが、従来のように単なる知識量や暗記力を問う教育から、生徒が自ら課題を発見し、その課題を主体的に解決できる力を付けさせる教育への転換です。同時に、高大接続改革として、高校における評価のあり方や大学入試制度のあり方についても見直す動きが出ています。

一方、県内では、国の教育改革を見据えて長野県独自の「学びの改革」を検討しています。それと並行して、少子化に伴う第二期高校再編計画も検討されようとしております。このように、高校教育は、今まさに大きな

要所に近く、教育環境も優れ、志望者も多く、近代農業を目指す憧れの農業高校と目されていると聞きます。在校生徒数は男女ほぼ同数でバランスがとれ、あらゆる面からも理想の教育環境を醸し出しております。

今後引き続き同窓の皆様の暖かい後ろ盾にご期待申し上げます。

な転換期を迎えようとしています。しかし、本校は、今後も引き続き農業教育を柱にして、地域に貢献できる人材を育成し、地域の期待に応え続けられる高校でありたいと思っております。

終わりになりますが、本校は、平成三十二年度に創立百周年を迎えます。現在同窓会におかれましては、関島同窓会長様の下に、記念事業の準備に取り掛かっていただいております。創立百周年を盛大に祝うためには、今後同窓生の皆様方には様々なお力添えをいただかなければなりません。誠に恐縮に存じますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

同窓生の一人として、母校のさらなる発展のために微力を注いで参りたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

稲穂会行事を振り返り

稲穂会部長 井上良恵 (高16回卒)

二十八年二月十三日満蒙開拓平和記念館視察研修を行いました。案内、DVDの真実、視聴を行い、戦後七十年経ってもこの悲しみや苦しみは消えるものではありませんが、歴史を学び、命の尊さを実感することができました。又、恒例の第十一回マレットゴルフ大会を六月十八日「まつかわ清流苑」にて、天候にも恵まれ四十六名の大勢の参加をいただき盛大に開催いたしました。この

日ばかりは日頃の疲れも忘れ学生時代にかえり、あちらこちらから大きな笑い声が聞かれ親睦を深めることができました。行事ある事に母校からの手作りの心こもった沢山のおみやげをありがとうございました。くだいてまいりました。この二年間力不足ではありましたが、皆様方



との出会いそして支えていただきそれ以上に事務局の先生方にお骨折りました。副部長さんにも助けられ役員を無事終えることができました。女性の会員も増えてきました。女性の方も増えてきました。今後は一人でも多くの方が楽しく参加でき、より一層充実した会に盛り上げていただければと思います。今後共皆様方のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

第二十五回大会を振り返り

事務局

岡島正人 (高26回卒)

大会当日は梅雨時にもかかわらず、晴天の下絶好のゴルフ日和となりました。今回は第二十五回記念大会の為、二百二十名ほどの参加者全員にメーカー付グリーンプォークが記念品として配られました。開会式、始球式の後、六時三十分からの早朝スタートで大会が始まりました。昨年からはセルフでの大会となりましたが、皆様の協力により和気あいあいの中、順調にプレーが行われ、予定通り記念大会を終了する事ができました。



記念品

日頃から日常的にゴルフをされる方、一方で年に「何回か」しかできない中でこの下農コンペに参加くださった方。三十代〜八十歳まで世代を超えた老若男女の卒業生が、一堂に会して毎年盛大に開催できる事、下農卒業生の連帯感の強さと各地区幹事の方々の奔走の賜と感謝致します。最後に、この親善ゴルフコンペに毎年協賛していただいている皆様に改めて役員一同感謝申し上げます。

下農同窓会親善ゴルフ大会成績

支会対抗の部

優勝	市田支会
準優勝	竜丘支会
3位	神稲・河野支会
4位	伊賀良支会
5位	山本支会



個人の部 (敬称略)

優勝	林 清志	市田支会
準優勝	壬生 力	神稲支会
3位	北原 勝	市田支会
4位	片桐農夫一	神稲支会
5位	村松 幸也	三穂支会
6位	岡庭 直久	山本支会
7位	伊藤 宗夫	鼎支会
8位	竹村 清海	松尾支会
9位	原 豊司	竜丘支会
10位	古川 啓二	山本支会

実行委員長 安野正和 (高21回卒)

第二十五回を迎えた記念大会が皆様のご協力のもと、無事開催する事が出来ました。四半世紀継続されている当大会は、多くの同窓生のご支援の賜物と深く感謝致します。この大会は毎回二百余名の参加者があり、県内でも他に類を見ない大会となっております。母校を慕う同窓生の強い想いが伺われます。親善大会であるこの大会では、母校の更なる

発展を願い、チャリティを募り贈呈してありますが、第二十回大会では東日本大震災、第二十五回大会では熊本地震と、国内で大きな災害の発生が有りました。これらに対しても親善大会では義援金を募り送る事が出来ました。いま母校から後輩達の活躍が数多く伝えられて来ます。今後私達は後輩の活躍が何時までも継続出来る様、親善ゴルフを通じ微力ながらお手伝いをさせていただきます。



熊本地震への義援金を「南信州」新聞2016年7月2日掲載

地域で活躍 社会

長野県議会議員

古田 芙士 (高11回卒)



ご支援頂き

三十年の思い
稲丘時報第八十一号の発刊にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

同窓会の皆様、各地域や職場におきましてのご活躍に心より敬意を表します。

母校下農も、校長先生をはじめ教職員の皆様のご指導と努力により、生徒諸君が幅広い方面で皆輝いていて、各所から高い評価をいただいておりますことは大変誇りに思います。

私も本校を卒業して五十八年になりますが、素晴らしい同級・同年生に恵まれ、今なおご指導いただいております当時担任だった恩師今牧英世先生や、同窓生の皆様のおかげで県議会議員として八期当選することが出来ました。

実に向けて動き出した年でもありました。
若者の働く場、産業振興のためには、何としても三遠南信道とリニア新幹線を早期に開通させることだと、私の県政での地域の悲願の大目標と掲げて先頭で頑張ってきました。

以来三十年、飯田下伊那を一変させる世紀の大事業がようやく本格的に動き出し、十年後の完成に向け、今年には節目の第一歩となります。

リニア事業はトンネル工事が着工、上郷北条に設置が決まった長野県駅の周辺整備が始まります。

一方三遠南信道については、天龍峡公園を一望する長さ二八〇メートル、高さ八〇メートルの橋がいよいよ架かります。自動車専用道路としては非常にまれな歩道橋付きの、県下一の超大橋となります。また大変難しいとされていた赤石山脈を貫通する青崩峠トンネルも試掘杭が半分以上進むなど順調な進捗状況です。

若者が定着できる地域にするために、航空宇宙産業等の研究機関や産業振興、魅力ある観光地づくり、特色ある農産物に更に力を入れるなど、魅力のある地域づくりの準備に大変大事な時を迎えました。

して、今まで置き去りの南信に力を入れるように一層頑張ります。
終わりに一〇〇周年記念

飯田市議会議員

木下 克志 (高20回卒)



伊那谷の発展を期す

高齢化、少子化が進み、中山間地域や山間地の多い当地域、飯田下伊那地域にとりましては、人口減少は喫緊の課題となっております。

平成二十六年五月に「日本創生会議」が発表した人口予測は、現行のままでは国内の半数近い市町村が、「市町村消滅」に至る可能性があることを示し、「市町村消滅論」と云うショッキングな言葉を生み出しました。同時に「市町村消滅」に対し

て、地方の社会や経済立て直しのための「地方創生」の取り組みが始まり人口減少問題についても、国をはじめ、都道府県、市町村において、それぞれ検討や取り組みが始まっています。各地で選挙がありますが必ず候補者の公約に、「定住人口増」

事業のご成功と、同窓会の皆様のご健勝、並びに下伊那農業高校のご発展をご祈念申し上げます。

加えて、議会は議会主導で市民会議を立ち上げて「自治基本条例」を制定し、これを基として行政評価を実施、政策提言を行い次年度予算への提言と行政改革に取り組み、更に議会報告会を行い、市民から出された意見を分析して調査研究を行い、全員協議会→政策討論会を経て市民に政策提言を行っている。出前授業も行い、議会の改革のトップランナーだ、行政も議会も共に全国的に注目されているのは他に類を見ない。

そこに、十年後リニアが通る。三遠南信道が開通する。私達はこれからの飯田市の変貌を注視している。飯田市はすすごい。今年も視察にお伺いしますと云われました。これも議会改革の基礎を作られた、下農の大先輩、岩崎和男、熊谷富夫両元議長に感謝すると同時に、現在活躍されている森山和幸金理事長や田内市人J A南信州組合長も下農OBです。大先輩です。肩書きだけじゃなく人間力が魅力です。私も皆さんに近づける様頑張ります。下農同窓会のご発展と同窓生のご健勝にてご活躍されることをご祈念申し上げます。

一月の十六、十七日の両日、長野県市議会議長会が開催され、総会の後、夜は意見交換会が行われました。その席上北信地方の複数の議長さんからこんな話を頂きました。名刺交換の後、副会長さんネエと切り出して来ました(現在私、県市議会議長会の副会長に就任しております)飯田市はすごいです。何がですか?全国で最初に定住自立圏構想を立上げ、続いて環境モデル都市全国十三都市の一つに選ばれ、最近旧飯田工業跡地を利用して、知の拠点、新産業の拠点づくりに着手し、

信州大学航空機システム部の共同研究講座を開設等、様々な事業に取り組んでおりすごいの一言だ。
加えて、議会は議会主導で市民会議を立ち上げて「自治基本条例」を制定し、これを基として行政評価を実施、政策提言を行い次年度予算への提言と行政改革に取り組み、更に議会報告会を行い、市民から出された意見を分析して調査研究を行い、全員協議会→政策討論会を経て市民に政策提言を行っている。出前授業も行い、議会の改革のトップランナーだ、行政も議会も共に全国的に注目されているのは他に類を見ない。

J A南信州組合長

田内市人 (高19回卒)



下伊那農業高校を卒業して五〇年が過ぎ、そのほとんどを農業とかわり、農家の皆さんのお世話になって今日まで仕事を続けさせていた。だいて来た。感謝です。

日本は貿易立国として高度経済成長を続け、その労働力として地方から都会や工業地帯へと人口が移動し、農業の担い手は減少を続けて来た。社会の変化とともに国の農政方針もめまぐるしく変わり、農家は常に大きな影響を受けて来た。特にグローバル経済の中で農産物の貿易自由化は日本農業に厳しい試練を与えてきた。低価格農産品の大量輸入は零細規模の家族農業を一気に飲み込み、結果として日本中いたるところに遊休荒廃農地を大規模に発生させてしまった。農業所得の減少により次世代の農家は育たず、農家数はいまだに減少を続けている。農業の国内総生産額は八兆円を下回り輸入金額と同等になりそうな様子である。全国一八〇万

農家の農業所得は三兆円程度とされており、厳しい農家の経営が見て取れる。一方で国内の食料消費額は八〇兆円規模で一次産業販売額との格差に愕然としている。地域農業の発展には経済力を強化するための技術革新(商品力の向上や生産の効率化などに向けたイノベーション)が欠かせない。JA営農事業における技術力のレベルアップと人材育成に力を尽くさなければと強く思う日々である。

昨年七月に農林水産省より、当地特産の市田柿が地理的表示保護制度による認証『GI』を取得した。全国で十三番目の取得となった。この制度はその地域において開発された生産加工技術や優れた品質、他と違う品質優位性を持つ農産品や農産加工品を将来に残すべく保護するとともに、その高い付加価値を広く消費者に認知させ、消費の拡大と価格の安定を図ることを目的としている。また、海外への輸出展開を図り産業として発展させようとするものである。今、市田柿の生産農家は高齢化が進み、加工の出来ない農家が増えている。栽培規模の小さな兼

業農家も多く、集中的な努力の確保や高度な加工技術の継承が進んでいないことが大きな原因であり、市田柿の将来に大きな不安となっている。生柿生産農家を位置づけ、所得を保証しながら、受け皿となる大型加工農家の育成が急務と思われる。JAでもそのモデルとなる柿工房を高森町に立ち上げ、規模拡大に耐えうる新技術の導入を進めてきた。道半ばではあるが産官学連携により技術革新も進み一部では普及できるシステムにまで仕上がっている。美味しい市田柿を安定的に、衛生的に、ロスなく仕上げ、生産性の向上が図られれば、参入する農家も現れると期待している。地域の宝である市田柿が消費者の支持を得て大きな経済を生み出し、農家の所得向上はもとより地域農業の基幹品目として関連産業とともに大きく発展することを期待したい。さらにニア中央新幹線開通後には南信州地域を全国に知らしめる特産品として役割を果たしてほしいと思う。

中山間地であるこの南信州は、農家個々の経営面積は少なく、傾斜地が多い。そんな中で今までのこの地の農業を支え発展させてきたものは、先人の努力により築かれた技術力と、小規模農家が結果として販売に取り組んだ産地力、市田柿など周年労働を念

頭に置いた集約的複合経営体制の確立などであり、農業者を多く輩出し、農業の近代化を教育したのが母校、下伊那農業高等学校の機能発揮も大きな役割を果たしたと感謝する次第である。在学当時は念仏のごとく歌っていた母校の校歌であるが、今、その

第五十四回技能五輪全国大会 時計修理競技の部銀メダル

井原 日菜子 (高66回卒)



技能五輪全国大会 に挑戦してみたい

私は平成二十五年三月に下伊那農業高校を卒業してから、シチズン時計マニユファクチャリング株式会社飯田殿岡工場に就職しました。時計会社ということで農業とはな

んの関わりもありませんが、先生や家族の勧めもあり、就職を決めました。入社して最初の約四ヶ月は現場の生産ラインに入り、時計の生産をしました。その後、安易な気持ちで技能五輪出場を決めると埼玉県所沢市にある本社への単身赴任が決まりました。

本社では技能五輪の訓練のための場所、部署で訓練を重ねました。何回か技能競技大

の精神性にとってもない偉大さを感じている。いつも思

平成二十八年各種大会にて大活躍

野球班班長 園芸クリエイト科2年 渡 邊 悠 輝

大会を振り返って

平成二十八年は本校野球部の歴史の一ページを飾る事のできる様な一年間でした。

この一年間の公式戦の成績を報告させて頂きます。第九十六回全国高等学校野球選手権長野大会に於いては、春の北信越長野県大会北信地区代表の長野工業



平成28年9月27日 南信州新聞 第135回秋季北信越高校野球県大会結果 4面写真より掲載

に正生さん・木下歩の投手リレーで打たれたヒット二本〇点に抑え、打っては三塁打二本、二塁打一本を含む八安打七得点で七回コールド勝ち、二回戦では準優勝した松商に善戦及ばず惜敗しました。

新チームになった秋の第百三十五回北信越地区高校野球南信予選に於いては一回戦飯田OIDE長姫に七対三、茅野には右腕勝又智弘が一对〇、シード校の下諏訪向陽に対してはエースの左腕木下歩紀が毎回の十回三振で六対〇で勝ち抜き準決勝で優勝した東海大

諏訪に惜敗しましたが、伊那北高校を二対一で下し三位で九月二十五日から行われた県大会に出場し、一回戦で長野俊英に六対五で勝利し、昭和二十二年創部以来初勝利、続く二回戦では佐久長聖に惜敗しました。

秋季飯伊地区高校野球大会では、七校総当たりのリーグ戦で、六戦での総得点は二十九、総失点七と圧倒的勝利で全勝優勝しました。

本年度の公式戦は十五勝六敗と良い成績を残すことができました。

一年間を振り返って見ますと、今まで私たちが暖かく見守ってくれた両親始め家族の支えの基に、ご指導頂いた、OBでもある嶋崎文男校長先生・大澤勲部長先生・松島晃監督先生・大野義彦先生・澤柳和春コーチのおかげさまと心より感謝しております。

今後も今まで以上に練習に励み、勝つことの喜びを又積み重ねたいと願っています。

の活躍



野球班H28秋季優勝

北信越大会出場

水泳同好会 アグリサービスク3年

伊藤 真琴



長野県高校選手権大会200m自由形1位

ていきます。

大学進学後は水泳指導に関わる勉強をし、さらに水泳部マネージャーとして水泳に関わっています。

結果ではありましたが、後悔はありませんでした。目標を達成出来ず幕を閉じたラストシーズンでしたがとても良い経験が出来たと思っています。

「インターハイ出場」これが現役最後の目標でした。高二シーズン後からコーチと来シーズンの目標を定めて準備を始めました。その年の年末から年始にかけて、さらに年度末やGWの合宿を乗り切りいざシーズン入り!!長野県の競泳の大会は南信地区大会・長野県高校選手権大会・北信越高校選手権大会・日本高校選手権大会(インターハイ)とつながっています。全てのレースをプラン通りいけば必ず目標を達成できます。一発目の南信大会では感覚とタイムの不一致で思いもしていなかったタイムで焦りと情

けなさや悔しきで潰されてしまいそうでした。その二週間後の県高校ではコーチの言葉を信じて挑みました。結果はやつぱりダメでした。プラン通りにもいかず、目標タイムも出せませんでした。その後は北信越大会に向けての最後の追い込みをかけてシーズン一番のメイン大会を迎えました。インターハイ出場を達成するには、この北信越大会で日本水泳連盟の定める標準記録の突破又は各種目三位以内入賞です。好調とは言えない調子ではあったがインターハイを決めることだけを考えて予選を泳ぎました。予選七位通

過。ベストから二秒近く離れていて不安をおぼえました。決勝のためにコーチと泳ぎを作り直してのぞんだ決勝は：四着。ベストにも届かず本当に残念な結果でした。でも決勝のレースでは私の特徴である後半の伸びがとて生きているレースでした。悔しい結果ではありましたが、後悔はありませんでした。目標を達成出来ず幕を閉じたラストシーズンでしたがとても良い経験が出来たと思っています。

運動班

北信越大会出場

柔道班 食品科学科1年 宮下 柚耶



写真右、宮下柚耶さん

六月十九日に、長野運動公園総合体育館で行われた北信越高校柔道大会に出場しました。六月上旬に行われた県大会では、運良く三位になることができての出場で、嬉しいというよりはまだ一年生で、力不足な点が多く不安でいっぱいでした。

北信越大会までの練習は、きつい練習が多く、気持ちが折れそうになることが何度もありました。でも、そんな時、仲間が励ましてくれました。北信越大会の前日練習の時も、緊張やプレッシャーで、気持的に不安定になつていたときも、仲間がリラックスさせようとしてくれました。

そして、北信越大会当日、

仲間の分を背負い、先生方、仲間、家族への感謝の気持ちを胸に戦いました。結果は一回戦敗退でした。自分の柔道がほとんど出来ずに負けてしまい悔しきでいっぱいでした。

北信越大会へ出場できたのは、練習の指導をして下さった先生方や、共に練習してきた仲間、練習などへの送迎をしてくれた家族、「頑張れ!」と声をかけて下さった、たくさんの方々のお陰です。本当に感謝しています。そして、たくさんの応援をありがとうございました。

私には、下農に入学した理由の一つに、「柔道で全国大会に出場する。」という目標があります。今現在部員は三名と少人数ですが、みんな力を合わせて練習に励んでいます。特に、外部指導者の原和男先生には、技術的な指導を週三日教えていただきながら技を磨いています。不器用でのみ込みが悪い私の指導を、本当に細かく熱心に指導していただいています。そんな先生の期待に応えるためにも、二・三年生では何としても全国大会に出場したいと思っています。頑張りますので、今後とも下農柔道班の応援を宜しくお願いします。

吹奏楽班 三年連続東海大会出場

吹奏楽班顧問 滝 沢 裕 基

私は、この四月より下伊那農業高校吹奏楽班と共にすることとなりました。人生経験もまだ浅い小童のような私を、生徒たちは温かく迎えてくれました。

さて、おかげさまで今年度も長野県吹奏楽コンク

ルB編成の部において県の代表として推薦を頂き、東海大会に出場することができました。三年連続という快挙でもあります。東海大会は、昨年八月二十八日、三重県の四日市市文化会館にて行われました。

当日の朝は、愛知県飛鳥村の立派なホールでの練習でした。しかしながら、その練習時の「音」に違和感を覚えたのです。決して下手では無いのですが、心に伝わって来るものが何もないのです。「これはいけない！」



県大会演奏後の記念撮影

と思い、全員で円陣を組ませ、どんな思いを持って音楽をしたのか再確認させました。音楽とは不思議なもので、演奏する人間の体の状態、そして心の動きにかなり左右されま

す。「音楽は心」という言葉があります。私自身それを再確認させられる機会でもありません。結果は金賞には届かず、銀賞でしたが、子どもたちは立派な音楽をホールに響かせてくれました。ここまでの厳しい練習や、様々な壁、重圧を乗り越えて本当によく頑張ってくれたと心から感

東海大会出場へ

吹奏楽班班長 園芸クリエイト科3年 寺 澤 周 子

最後になりましたが、本校吹奏楽班が活動できるのも、日ごろより支え、見

守って下さる保護者の皆様や、諸先輩方をはじめとする地域の皆様の応援あつて

のことに存じます。改めて感謝申し上げます。

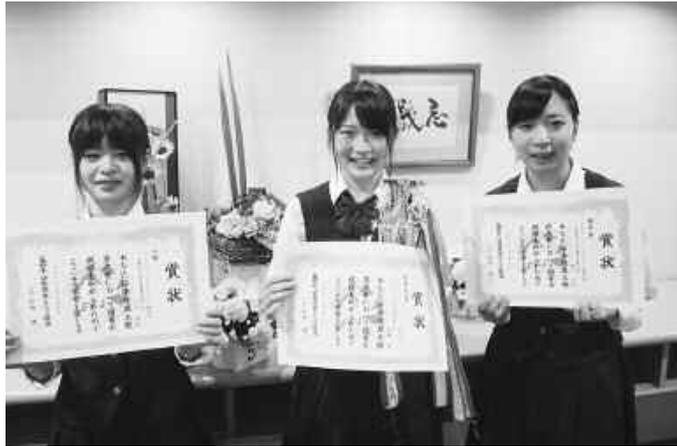
からも頑張っていた嬉しいです。最後になりましたが、今まで指導してくださ

た先生方本当にありがとうございました。



三年連続上位入賞の快挙
第二十六回全国産業教育フェア石川大会
全国高校生フラワーアレンジメント大会奨励賞受賞

草花班顧問 小澤直子



本年度も生徒の努力のおかげで、全国大会に引率させて頂くことができました。選手である後藤さんは、昨年も県大会を二位で勝ち抜き、全国大会へ入賞していました。そのため、今年は県大会の時点で周りから「最優秀賞」を期待され、本人は表には出しませんでした。それがそれなりの苦悩があったのではないのでしょうか。一つのミスも許されないという思いで、県大会に臨み、みごと最優秀賞を受賞しました。顧問の私的見解ですが、作品は他人の追隨を許さないダントツの最優秀賞で素晴らしい作品でした。全国大会は全てが当日公表である昨年度と異なり、事前に花材がある程度公表されていたので、デザインを絞って練習することが出来ました。しかし、それは他の出場者も同じことで、当日挿す技術は勿論ですが、そのもそのデザイン力、発想力が大きく問われると予測されました。主に二つのデザインを考案し、一つはオーソドックスに美しく作り上げる形、もう一つはかなりモダンであり高校生としては勇気のいるデザインでした。当初、本人が考えてきたものはオーソドックスな形であったのですが、練習を重ねるうちに本人も私ももう一つのデザイン



第26回全国産業教育フェアにて(石川大会)

に惹かれていきました。安全策をとるなら...との思いも頭をかすめました。無難にまとめるよりも新しいことに挑戦したい。そんな思いをもって当日を迎えました。結果は六十余の出場者の中で審査員奨励賞(実質六位)でした。ただ、昨年は銀賞(実質二位)を受賞していたので、どこかで本人も私も金賞をイメージしていたのかもしれない。というより、アリーナ席で見ている限り、それも夢ではないと感じていました。なので、他の入賞作品と比べて足りなかつたのはなにか、私なりに分析しました。当日の多少のミスはありましたが、花の使い方、挿し方など本当によく考えられている作品であったと断言できます。ただ、全国の入賞作品は皆それぞれの素晴らしさがありました。そして、こうして大会に出場することによって得たものは金賞に匹敵するものでもありました。このような機会を頂けたことを本当に感謝し、将来花の世界で生きることを目指す後藤さんの「人生の金賞」を楽しみにしています。

全国大会に出場して

園芸クリエイト科3年 後藤 萌

私は、全国産業教育フェア石川大会の高校生フラワーアレンジメントコンテストに出場しました。今年、草花班の人数が増えたため、県大会に出場する三人を決める校内選考が行われました。一番大切な基礎となるアレンジを個々で作り、お互いに反省とアドバイスを言い合いました。普段一緒に活動している仲間と競い、思った事を言い合うのは初めてでしたが、良い刺激や励みとなりました。そして、下農代表として県大会に出場する事ができました。練習してきた事を全て出し切り優勝する事ができました。審査員の先生に基礎を褒めていただき、嬉しかったです。全国大会は十一月に行われました。発表された指定の器に合い、見る人の目を引くようなデザインを考え、試して、練習しました。顧問の小澤先生や、お花屋さんに様々な事を教わり、アドバイスをもらいました。当日は多くの人に見られていて緊張しましたが、昨年よりは余裕をもって楽しんで作品を作る事ができました。結果は、審査員奨励賞で入賞でした。入賞できて嬉しい気持ちもありましたが、少しミスをしてしまった部分もあり、悔しかったです。周りの人の作品やブローの方の作品から学んだり、大会へ出場するまでの間に多くの事を得られて良い経験になりました。これからも頑張ります。応援ありがとうございました。

平成二十八年度日本学校農業クラブ北信越 ブロック大会（富山大会）意見発表優秀賞

アグリサービスク2年 北 沢 実智瑠

七月一日に本校を会場に行われた、農業クラブ県大会意見発表の部において最優秀賞をいただき北信越ブロック大会に進むことが出来ました。そして、八月十八・十九日の二日間に富山県で行われた北信越ブロック大会では優秀賞をいただきました。各県の代表者が集まりとても緊迫した空気の中で行われた大会で、と

ても緊張しましたが、知らない人の前で自分の意見を発表することはとても気持ちのいいことだと感じました。優秀賞で終わってしまいました。発表を通して自分の意見を伝える楽しさ、他の人の意見を聞き共感する楽しさ、人の意見を聞いて自分の知識が広がる嬉しさを知ることが出来ました。そして終わった後は、また

この場に立ちたいと思うほど、充実した大会に出場できて本当に良かったです。発表した「真剣に食べる」は、私の中学時代の経験から、食べることの大切さについてまとめたものです。私たち人間の身体は毎日の食事に



よって作ら

れていること、食事によって鍛えられる身体の機能が違ふことなど、毎日何気なく摂っている食事がいかに大切であるかということに深く考えることが出来ました。また、色々調べる内にアスリートに特化した食事指導をする資格があることを知り、私もそれに挑戦していることも発表しました。大勢の前で資格を取ることが宣言していたこともあり、集中して学習もでき昨年の夏に「アスリートフードマイスター三級」を取得することができました。その知識を大好きなスポーツの面で生かしてみたい！そう思い、今では部活などで知識を発揮しています。そして、将来はこの資格を生かした仕事につきたいと考えています。今後も学習を継続的にを行い、さらに上級を目指して頑張りたいと思います。



前列中央 古田萌華さん

最後にになりましたが、北信越大会まで練習等に関わって下さった先生方、応援して下さいました。ありがとうございました。

長野県国際教育研究協議会主催 第三十六回英語弁論大会県予選会最優秀賞

アグリサービスク3年 古 田 萌 華

私は、六月十六日に長野県須坂園芸高等学校で行われた第三十六回英語弁論大会長野県予選会に参加しました。「Agriculture is our life」というタイトルで自分の農業に対する思いや命の大切さなど、下農に入學して学んだ事をスピーチしました。

私がこの弁論大会に参加しようと思ったきっかけは、英語科の松岡先生にやってみないかと声をかけていただいた事から、私は英語が好きで力をつけたいと思っていたので、せっかくのチャンスなので挑戦してみようと思えました。この弁論大会に参加するため、二年の三月から準備を進めてきました。日本語で内容をまとめ、英語で書き直し原稿を作り、原稿ができてからは

毎朝早く登校しスピーチの練習を続けてきました。最初の頃はうまく読めず苦戦しましたが回数を重ねていくうちにスラスラ読めるようになりました。ですがスピーチはただ暗唱して読むのではなく、聞いてくださる方に伝わるように読み方を工夫したり感情を込めたりと考えなくてはいけない事が多く大変でした。

そして迎えた弁論大会。発表順番は一番最後で、出番が近づいてくるにつれて緊張が高まりました。ですが、発表し始めると今までの練習の成果が発揮でき最後までやり遂げられて嬉しかったです。審査員の方がうなずきながら聞いてくれた事が何よりも嬉しかったです。そして最優秀賞をいただきました。今まで頑張ってきた良くなったなと思いました。応援してくれた友達や家族、毎日ご指導してくれた松岡先生には感謝の気持ちでいっぱいです。大学へ進学しても勉強を続け、目標であるカナダ留学を実現し、将来様々な国の方と話せる人になれるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。

会務報告

同窓会幹事長 横前 元(高23回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

五月二十一日に同窓会理事・代議員会が開催され、

平成二十七年事業・決算報告をはじめ、平成二十八年事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。お陰様で順調に諸事業を終了し、まとめの時期を迎えております。

本年度、役員の異動がありました。同窓会のまとめ役としてお勤めを頂きました岩崎和男同窓会長さんが退任され、新たに同窓会副会長でありました関島伸喜さんが新会長に、また同窓会副会長には原重一さんが就任されました。岩崎和男前会長さんにおかれましては、創立九十周年記念事業の実行委員長をはじめ、同窓会各種事業にも積極的ご参加頂くなどご功績は大きく、同窓会活性化に力を注いで頂きました。永きにわたり、会長職をお勤め頂

いたことにお礼申し上げますと共に、労をねぎらい感謝申し上げます。今後は、顧問としてご指導をお願いしたいと思います。平成二十六年同窓会代議員会にて賛成多数により議決された「創立百周年記念事業」につきましても、内容の具体化が本年度も進められました。

支会長・実行委員会合同会議が、二月二十二日に開催され、実行委員より支会長の皆様に、本事業の趣旨・内容をご説明し、ご理解・ご賛同を頂きました。記念事業は皆様方よりの賛助金で成り立ちます。夏には各支会へ、趣意書・芳名簿・領収書をお届けしました。すでに具体的な募金活動を始めていた、今秋には中間集計を予定しております。

記念事業の大きな柱となります「記念誌刊行」につきましても、記念誌部を中心に鋭意準備を進めております。各界・世代を勘案しながら、編纂委員会も立ち上がりました。また、記念式典の日程・会場・規模等につきましても、本年度確定したいと考えております。

今後、より具体的な企画立案を進め、皆様方に報告して参りたいと思っております。会員の皆様方におかれましても、百周年記念事業に

関島伸喜同窓会長を 励ます会開かる

鼎支部

去る五月二十一日稲丘会館において、恒例に依る代議員定期総会が開かれた。今回は役員の改選期に当たり、今まで永年担当されていた上郷の岩崎和男会長が退任され、鼎出身の関島伸喜さんが後任として指名された。次の会長は三年後には母校開校百年の大事業等がすでに計画されている大役であります。今日まで母校の地元である鼎出身の同窓会長の誕生は初めてであります。地元稲井ヶ丘で育ち祖父に当たる函

峰先生は伸喜さんのおおじいさんです。伸喜さんの足跡を一部紹介させていただきます。在学三年生の時は生徒会長として、又、卒業後の地元鼎では大規模な果樹栽培をそして花卉栽培等取り入れ多忙な中を鼎町消防団長として、又永年農協の理事として勤務され、現在は五千六百町歩を有

向け、あわせて母校発展のために、より一層のご支援を賜りたくよろしく申し上げます。

する松川入財産区議長として、多忙な中を熱心に務めて下されています。鼎地区には現在同窓生が八百余名地域発展のため努力しています。創立百年の諸事業が盛大に、そして無事終了出来る様、鼎同窓生有志五十余名が、去る五月十五日稲丘会館において、関島伸喜同窓会長を励ます会が開かれた。同窓生である嶋崎学校長、同窓会幹事長横前先生、鼎担当大野先生の出席をお



願いし、昨年十二月に他界された元鼎町議会議員長の原宏さん、そして前鼎公民館長の塩沢正義さん、友人代表として、地元の森本勝人さんの激励の言葉を受けて、関島伸喜同窓会長が力強い決意表明をなされた。最後に飯田市会議長の木下克志さんに依る一本で同窓会長を励ます会が終了出来ました。



平成28年度 会員の異動

同窓会員	二十八年度三月卒業により	一五〇名
正会員	二十八年度四月入学により	一六三名
正会員数	準会員になった人	一八、三八九名
旧制		二、四八九名
高校		一五、九〇〇名
内男子		一〇、八七四名
女子		五、〇二六名

平成27年度卒業生(平成28年3月卒業)の進路状況

28. 3. 31現在

卒業生数				合計	アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学
男子	68人	人数	比率	150	41	35	38	36
女子	82人			68	8	35	19	6
合計	150人			82	33	0	19	30
就職者	管内	61	93.8%	計	28	2	6	2
				男子	33	9	0	10
男子	県内	0	0%	男女	0	0	0	0
				女子	0	0	0	0
女子	県外	4	6.2%	男子	1	0	0	0
				女子	3	1	0	1
小計	公務員	0	0%	男女	0	0	0	0
				男子	0	0	0	0
比率	自営	0	0%	男女	0	0	0	0
				男子	0	0	0	0
進学者	四年制大学	11	13.1%	男女	8	1	3	2
				男子	3	2	0	1
男子	短期大学	16	19.0%	男女	1	1	0	0
				男子	15	11	0	0
女子	県農大等	9	10.7%	男女	8	1	0	7
				男子	1	1	0	0
小計	専修学校等	48	57.1%	男女	21	3	14	3
				男子	27	9	0	7
比率	未定	1	0.7%	男女	1	0	0	0
				男子	0	0	0	0

進路状況

平成27年度(平成28年3月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 何原津壽子

昨年度の卒業生の進路状況(別表参照)について、就職は卒業生百五十名中就職者は六十五名。これは一昨年と同じです。県外が四名で、それ以外の六十名が管内に就職しました。事業

所の求人数は、過去五年間で最高でしたが、人気のある事業所に本校も苦戦しました。一次でほとんどの生徒が決まり、残った数名の生徒も三次までの挑戦で

全員内定をいただくことができませんでした。就職内定が順調に決まってくるのは、生徒が危機意識を持ってしっかりと準備して試験に臨むことに加え、各事業所内での同窓生の存在も多分に影響していたと聞きます。同窓の先輩が積み重ねてくれた「下農ブランド」が広く浸透しているお陰で有り、本当にありがたく思います。こうした信頼は一朝一夕に得られるものではありません。これからの卒業生も、本校と事業所とのこの良い繋がりを是非続けて行ってほしいと思います。

進学先は、昨年度八十四名です。進学先は四年生大学が十一名短

進学 4年制大学

宇都宮(農)、筑波(生命環境)、秋田県立大(生物資源)、岐阜女子(家政)、松本(人間健康)、山梨学院(スポーツ)、中部(応用生物)、東海学院(人間関係)、東京農業(応用生物)、日本福祉(子ども発達)、国土館(体育)

短期大学

長野県短(生活科学)、飯田女子10(幼児教育3・家政5・看護2)、松本(幼児教育)、愛知医療学院(リハビリテーション)、信州豊南(幼児教育)、平成医療(リハビリテーション)

農業大学校等

長野県農業大学校5(総合農3・果樹実科・畜産実科)、長野県林業大学校、愛知県立農業大学校

(農)、ハケ岳中央農業実践大学校(専修科)

専修学校

看護・医療10、自動車整備7、理美容6、調理・製菓5、医療事務・ビジネス4、スポーツ・ダンス4、動物3、情報3、保育2、公務員1、建築1、フラワー1、音楽1

就職 公務員

管内

旭松食品、アジア電子工業、飯田パルスモ、飯田城、石田電気工事、NSKマイクロプレジジョン、エヌティーツール、エフプラス、王将フードサービス、岡島農園、オムロンオートモーティブエレクトロニクス、佳芳みつ蜂、喜久水酒造2、輝山会記念病院2、キラヤ、黄鶴園、グラビアジャパン、コバツ

クス、小林製袋2、コメリ、SADO工業、JMC2、シチズン時計マニュファクチャリング3、信濃雪、柴田科学、シルクホテル、信南交通、信菱電機、信和サービス南信2、谷口醸造、多摩川エアロシステム、多摩川マイクロテップ、チャンネル・ユー、中菱テクニカ、津具屋製菓2、天恵製菓、戸田屋、長野ダイハツ、夏目光学、NEXAS、花はん、花よし、ピノキオ、マイハウス社湯多利の里伊那華、マツザワ、みなみ信州農業協同組合、メイワパクス、モンタポー、横浜ゴム

県外

エル、魂源堂、ピ・ダーン、フジパンググループ

編集後記

稲丘時報第八十一号が出来上がりました。多くの皆様から原稿を寄せて頂き、ありがとうございます。改めて感謝と御礼申し上げます。稲丘時報につきましては、時代の趨勢の中、近隣の学校の状況を踏まえ、デジタルデータでも公開を始めております。一年間の活動をまとめて、関係で冬場の発行にしまして、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。配布に関しても、関係の皆様には大変お手数をかけさせていただきます。今年度会員の計報及び会計報告につきましては、紙面の関係で省かせていただいております。(稲丘時報係)

期大学十六名、農業及び林業大学校九名、専修学校など四十八名となっております。昨年度の特徴は、ここ二年なかった国立大学への進学者が二名出たこと、農業関係の学校への進学者が多かったことです。その他主な分野は、看護・医療・自動車整備・幼児教育・保育・理美容・調理・製菓などです。ほとんどの生徒が推薦入試(指定校推薦、AO入試、公募推薦)を利用して合格しました。専修学校を中心に、入試の時期が早まり、複数回行う傾向が続いています。学校側の早く生徒を集めたいという生徒も早く進路を決めたいという両者の思惑が重なっています。